

令和4年度事業計画

I 基本方針

人口減少、少子高齢化が進展している社会の中で、人生100年時代を高齢者が健康で年齢にかかわらず社会参加することが、経済社会の活力を維持していく上でますます重要になっています。働く意欲のある高齢者がその能力を十分発揮できるよう「高齢者雇用安定法」が改正され、65歳までの雇用の確保措置に加え、70歳までの就業機会の確保を事業主が努力義務とするなど、高齢者の雇用環境は大きく変化しています。

当センターにおきましても、地域に密着した親切・丁寧な仕事を提供することで更なる信頼を築き、会員が高齢になっても働くことができる就業の確保や、仲間と共に生涯笑顔でいられる居場所の提供ができるよう、入会の促進及び就業開拓や就業機会の提供、生きがい事業の提案に努めてまいります。

令和4年度は、「第4次中期計画」(令和4年度から令和8年度)のスタート年度であり、「会員の増強」「就業拡大及び安全・適正就業」「財務の強化及び組織の充実」を重点目標として取り組み、新しい生活様式を取り入れながら、Withコロナで小さな活動を積み重ね魅力あるセンターづくりに励みます。

今後も、環境の変化に柔軟に対応しながら、高齢者が健康で生涯現役で働くことができる社会を実現させるため「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、生きがいの充実と福祉の増進を図り、真に町民に愛されるセンターを目指し活力ある地域づくりに寄与してまいります。

こうした考えをもとに本年度は、次の事業を推進します。

II 事業実施計画

1 会員の増強

(1)会員の確保

- ①イメージアップできる内容を、シルバーだより、町広報紙、ホームページ、自治会回覧板、配布チラシなどに掲載して会員拡大に努める。
- ②毎月2回第1及び第3火曜日に入会説明会を開催して、センターの活動内容を周知しながら入会促進を図る。
- ③会員1名が1名以上を目標で紹介する「新入会員紹介カード」により入会に至った会員に町指定可燃ごみ袋などの報奨により活動意識の向上を図る。
- ④健康体操やミニ美化活動など、密を避けた小さな活動を継続的に実施し、参加者には楽しみながらポイントが貯まるシステム(貯まったポイントは有効活用できる)を導入して会員拡大を図る。
- ⑤仕事目的以外であっても、シルバー事業に貢献したい高齢者をプレ会員として迎え入れる制度を検討し入会の間口を広げる。

(2)女性会員の拡大

女性限定入会説明会や、シルバー女性会「ねえねの会」が企画した魅力ある講習会や教室をロコミで広げ女性会員拡大に努める。

(3)会員の資質の向上

- ①多様化するニーズに応えるため会員の知識や技能の向上を目的とした技能講習会を実施する。
- ②会員の発注者対応への姿勢と意識の向上を図るため接遇研修を実施する。
- ③職員が参加するスキルアップ研修(オンライン)などに参加を促す。

(4)退会抑制

- ①高齢になっても安全に働くことができる就業の場を開拓し、生きがい事業や同好会活動を通じて居場所づくりを提案していく。
- ②未就業会員の就業促進や、入会后早期に就業先をマッチングさせることなどを優先し退会抑制を図る。
- ③シルバー事業に貢献し就業が困難になった会員に、生きがい活動を提案すると共に、特別会員制度を検討する。

2 就業拡大と安全・適正就業

(1)就業開拓と就業機会の拡大

- ①会員意識調査による会員のやりたい仕事を把握し、一般家庭、事業所及び公共団体への就業開拓を積極的に行う。
- ②東郷町から受託した業務の他にも新規事業の拡大に向け、関係機関の情報収集や連携を図り体制を整える。
- ③就業機会の拡大につなげるためお客様満足度調査を実施する。

(2)独自事業

- ①「愛デア工房」や「愛デアキッチン」「焼きいも」事業の運営や販売について検討し、話題性を高めて売り上げアップに繋げる。
- ②シルバー生活応援隊(ワンコイン事業)など高齢者宅のお困りごとなどに対応する。
- ③東郷町文化産業まつりなどのイベント会場において、シルバー事業のPR及び販売の促進を図る。
- ④独自事業の創出に努め、会員から提案された新規事業については実現に向けて検討し、多くの会員に就業の場を確保できるよう努める。

(3)安全就業

- ①就業中の事故防止及び就業途上の交通事故防止を図るため、安全就業講習会を開催する。また、会員からのヒヤリハットを集め、事故を未然に防ぐよう努める。
- ②安全就業委員、安全推進員、職員による安全パトロールを実施し、安全基準の徹底及び事故発生時には原因の分析をおこない再発防止に努める。
- ③会員の健康管理や体力づくりに関連した講習会の開催や、健康診断の受診を喚起する。
- ④新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら安全対策を講じる。

(4)適正就業

- ①「適正就業ガイドライン」に基づいて適正な契約内容であるか確認し、請負で問題がある場合には派遣事業や有料職業紹介事業に是正を図る。
- ②会員に平等な就業機会を確保するため、ワークシェアリングやローテーション就業を推進する。

3 財務の強化及び組織の充実

(1) 事務費、配分金の検討

- ① 自主財源の確保のため事務費や会費等の見直しを検討する。
- ② 愛知県最低賃金の改正に伴う配分金の見直しを検討し、定期的に改正する。

(2) 事務の効率化

オンライン会議や、会員携帯への一斉メッセージ(SNS)などICT(情報通信技術)を活用した事務を推進し効率化を図る。

(3) 会員による自主運営体制

- ① 理事会を原則毎月開催して、センターの現状などの周知や意見交換、また、月間シルバー誌(全国シルバー誌)などで他のセンターの情報収集に努める。
- ② 安全適正就業委員会・就業開拓委員会・広報委員会、女性委員会などの委員会活動を活性化する。
- ③ 14地区の地域連絡委員が、地域班として地域会員とのパイプ役として情報収集に努め、ポスティング等の地域活動を積極的に行う。
- ④ 職群班により後継者の育成や安全就業点検等を行う。
- ⑤ シルバー事業普及啓発促進月間など、役員、委員、全会員が一丸となって活動に取り組む。

(4) 事務局体制の充実

- ① 事務局職員の適正配置やICTなどの活用により事務の効率化を図る。
- ② 業務内容の再点検を行い経費の節減を図る。
- ③ 会員拡大、シルバー事業の拡大を図るため積極的な営業活動、啓発活動を行う。
- ④ 目標管理、県シ連の実施するスキルアップ研修や担当者会議等に参加し、資質の向上に努め人材育成を図る。
- ⑤ オンライン会議など職員以外に役員、委員等が同時に参加できる設備を整える。

4 その他

新しい生活様式の中で、週1回の健康体操、月1回のミニ美化活動などを実施し、施設の有効活用を図り、女性委員会の活性化や就業が困難となった会員の居場所づくりの場所としての機能も果たし、東郷町との連携を強化しながら地域貢献事業に取り組むことで、SDGs(「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会を目指す)を推進します。